

北九州市立「学びの多様化学校」の設置について

1 「学びの多様化学校」とは

文部科学省の指定を受け、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成して教育を実施する学校。

令和7年4月現在、全国で58校（公立学校37校、私立学校21校）が設置。

2 本市における「学びの多様化学校」について

(1) 開校時期 令和9年4月

(2) 設置場所 北九州市立教育センター（八幡西区相生町）内

不登校生徒にとって、学校以外の施設の方が通いやすいとの声があることや、理科室、調理室等の特別教室を備えており、良好な教育環境を確保可能であることなどを総合的に勘案。

(3) 設置形態

独自に編成する特別な教育課程の効果的な実施を図るため、専任の校長を置く独立した中学校として新たに設置することを想定。なお、遠隔地に居住している生徒への対応の観点も含め、市内各所の教育支援室との連携の在り方も検討。

(4) 受入対象者

不登校状態にある中学生及び不登校傾向が見られる中学生

(5) 受入想定人数

各学年15名程度、計50名程度 ※他都市の状況等を踏まえた想定

3 今後のスケジュール（想定）

令和7年度 施設改修に向けた撤去工事・設計等、教育課程等検討

令和8年度 施設改修工事、文部科学省との協議、生徒募集

令和9年度 開校

※ 開校に向けて学識経験者や学校関係者等からなる有識者会議の設置を予定。